

論争

果汁7滴の缶酎ハイの問題広告

加藤純二

(かとう じゅんじ・63歳 開業医)

ある缶酎ハイのテレビコマーシャルを見た。広場にたくさん果物を積み、周囲に沖繩農村の人々が集まり、男性が頭の上にドラム缶のような缶を載せ、現地の女性と踊る。途中には手で果実を握って絞る場面が挿入され、最後に沖繩の民族衣装を着た若い女性が缶酎ハイを飲む。

たまたま酒の量販店で、その缶酎ハイを見つけた。缶の側面には大きな果実の絵と「沖繩」の文字がプリントされ、下に「お酒」と書かれている。沖繩特産の果実を主原料とした缶酎ハイである。よく見ると下方に小さく「果汁〇・一%」と表記されている。コマーシャルで果実を絞る場面を見ていたので、この果汁濃度の低さには驚いてしまった。

〇・一%とは、一滴が約〇・〇五ミリリットルなので一缶三五〇ミリリットル中わずか七滴。ちなみにアルコールが一%未満であればアルコール飲料とみなされない。果汁が一%の一〇分の一なら、「果汁は含まれていない」と言った方がいい。

ほかの缶酎ハイは比較的濃度が高く、二〇%を越す商品もある。七滴でも、同じく缶に果物の絵や写真がプリントできるのはおかしい。調べると昨年一月から果汁飲料と「低アルコール度リキユール類(缶酎ハイ)」の誤認を避けるため、果実の絵・写真は缶の側面積の二五%以下という自主基準を施行したという。缶酎ハイの安売り合戦は最近では少なくなつたというが、清涼飲料水

並の安さである。ほかの酒類の売り上げが低迷するなか、缶酎ハイを含む低アルコール度リキユール類の販売はここ一四年連続で過去最高を続けている(国税庁〇六年度課税数量)。コマーシャルに若い女性が缶酎ハイを飲む場面が出るように、ターゲットは若い女性であろう。

私は内科の診療所で、軽症を含めたアルコール依存症者の統計をとつたことがある。一二年前までの統計で、すでに若い女性の軽症アルコール依存症の増加が見られ、当時で男女比は七対一程度であった。吐き気や腹痛などの症状を軽減してもらうためにくるだけで、若い女性にアルコール依存症という意識はない。現在、アルコール依存症の専門精

神病院における入院患者の男女比は若い患者さんほど一対一に近いという。缶酎ハイや梅酒など、若い女性をターゲットにした宣伝広告のたまものである。アルコールとは単なる嗜好品ではない。嗜好品の性格を併せ持つ向精神物質である。

七滴を加えただけで缶に果実の絵をプリントできる自主基準は改め、「果汁の濃度に比例した大きさのデザインとし、上限を二五%とする」と改めるべきだ。サントリー社はウイスキーの宣伝に、「何も足さない、何も引かない」というフレーズを使っている。「七滴だけ加えた缶酎ハイ」の宣伝は問題商品の問題広告。実際の商品と異なるコマーシャルは自粛か修正すべきだ。

PARC自由学校 ツアー参加者募集

市民運動グループの自己紹介欄です。連絡先(住所・電話番号)を含め15字×40行で「こんなこと、やっています」係宛にお送りください。掲載の場合はご連絡します。

こんなこと、やっています



PARC自由学校は一九八二年にスタートしたオルタナティブな市民の学校。紹介するのは、旅の体験から私たちが次の一歩をどう踏み出していくのかを発見、そして考えるプログラムです。

■北九州筑豊炭鉱三日間 炭鉱の闇を背にして―近代化を支えた人びとの歴史に出会う(講師は横川輝雄さん・強制動員真相説明

岡山ネットワーク

九月二、三、四日 四万五〇〇

〇円(予定、現地までの往復交通費各自) 申込締切・九月一〇日

▼ツアー内容

一日目「闇を背にして―炭鉱労働者

たちの生きた時代とは」

二日目「筑豊三炭都」が現在抱える課題―歴史の忘却と改ざんに抗して」飯塚炭鉱・田川炭鉱など。

三日月 直方市石炭記念館など。

沖繩三日間 ダグラス・ラミス

さんと歩いて考える安保・基地・平和(講師はダグラス・ラミスさん・政治学者)

一〇月六、八日 四万八〇〇〇

円(予定、現地までの往復交通費各自) 申込締切・九月二一日

▼ツアー内容

一日目「沖繩の歴史を学びなおす」

平和祈念資料館・韓国人慰霊塔。

二日目「安保・基地・米軍」安保

の丘・普天間基地・読谷村など。

三日目「基地のない沖繩の可能性」

やんばるの森のエコツーリズム。

【申込み・お問合せ】アジア太平洋資料センター(PARC) 03・5209・3450 03・5209・3453 office@parc.jp.

9・3453 office@parc.jp.

org 03・5209・3450 03・5209・3453

http://www.parc-jp.org

http://www.parc-jp.org

